

## 床の耐薬品対策と衛生管理

食品工場の床、給食施設、ファーストフードレストランの厨房床は熱水、油、などの影響による痛みが多いが、最近では製薬工場や飲料メーカー工場における殺菌消毒や取扱い薬品による床面の損傷が目立ち衛生上好ましくない状態



になり、改修する工場が増加している。

飲料メーカーはパイプのCIP洗浄により薬品を流す処理をしており、エポキシ系樹脂床材やコンクリート床面が侵され、床材がめくれあがったり、コンクリートの砂利が露出している現場が多々見られる。補修は実施されていても施工時間が無いことや床材選定の間違いにより何度も改修しているのが現状で、一向に改善されていない。

最近の改修例として、旧塗膜を撤去し、痛んだコンクリートに浸透タイプコンクリート強化剤を塗布してから、床面を補強し、耐薬品仕様にて仕上げる工法が採用されはじめた。

【SSX 床工法】①コンクリート改質強化剤塗布後に ②ポリウレタン系の厚塗りタイプにて痛んだ凹凸のある床面を一回塗で平滑補強する。さらに耐薬品性に優れた汚れが付きにくい ③シリル化フッ素樹脂系クリアー塗装を施す。これにより薬品に侵されない床面に仕上がり、清掃性の良い汚れのつきにくい強固なグレードの高い仕様となる。

